

2017 年「第 7 回定時総会」報告

(一社)ニューガラスフォーラム事務局

The 7th General Meeting Report

New Glass Forum

平成 29 年 6 月 6 日（火）、日本ガラス工業センタービルの地階会議室において、第 7 回ニューガラスフォーラム定時総会が開催されました。

定時総会では、平成 28 年度事業報告案ならびに収支実績案と平成 29 年度事業計画案ならびに収支予算案が全会一致で承認されました。今回は、役員の改選や交替は無く、引き続き、平成 29 年度も現体制で歩むことになります。

総会終了後、記念講演会が開催され、内閣府

総合科学・イノベーション会議議員の久間和生様から、「我が国の科学技術イノベーション戦略」と題した講演がなされました。



ご講演者の久間議員

講演の内容については、機関誌“NEW GLASS”第 122 号（11 月 1 日刊行予定）に、傍

聴記が掲載される予定となっていますので、それに譲りますが、総合的、基本的な科学技術イノベーションについてのたいへん興味深いお話を聴くことができました。



講演会

講演会終了後引き続き、同じ場所で懇親会が開催されました。始めに、有岡雅行ニューガラスフォーラム会長（日本電気硝子株式会社代表取締役会長）から、「ニューガラスフォーラムは 2 年前に 30 周年を迎えたが、30 年是一个の節目と考えられる。今後のニューガラスフォーラムの活動に期待するとともに、会員を始めとする皆様のご支援、ご指導をお願いする。」との挨拶がありました。



有岡ニューガラスフォーラム会長

次に、ご来賓代表として、経済産業省製造産業局素材産業課課長の茂木正様から、Society 5.0の取り組みを例に、「素材産業にとっても、技術の変化、社会の変化をいろいろな意味でチャンスととらえ、この変化を大いに取り込んで欲しい。経済産業省としても情報発信や意見交換等でサポートしていきたい。」とのご挨拶がありました。



茂木経済産業省素材産業課課長

続いて、平岩弘之ニューガラスフォーラム理事（株式会社ニコン執行役員ガラス事業室長）による「変化の波を乗り越え、その中心にニューガラスフォーラムが存在するという状況が続けたい。」というご挨拶と乾杯のご発声があって、歓談に移りました。



平岩ニューガラスフォーラム理事

予定していた約1時間余りの時間は瞬く間に過ぎ、最後は、高木雅隆ニューガラスフォーラム運営委員長（日本電気硝子株式会社技術統括部）による中締めでお開きとなりました。



高木ニューガラスフォーラム運営委員長

ニューガラスフォーラムは、1985年に発足して以来、32年目に向かう訳ではありますが、今年度も引き続き、総会にてご承認頂きました各事業につきまして、会員の方に満足頂けるような活動を、皆様方のご支援、ご指導を頂きながら、着実に進めて参りたいと思います。